



九州サイディング事業協同組合

臨時版

組合だより

令和4年3月発行
発行元：組合事務局

KSA DISCUSSION 第1回を開催しました

いつもお世話になっております。

さて、令和4年3月16日(水)の夕方5時より、初のオンラインディスカッションイベント『KSA DISCUSSION』を開催しました。

9社の組合員さまにご参加頂き、『一人親方の未来について』をテーマに語り合いました。
お忙しい折ご参加賜りまして、誠にありがとうございました。

いつもの理事会とは違いくだけた雰囲気、冗談をまじえつつ終始楽しい会とすることができました。

今回は、小野純一郎理事(株)小野サイディング 代表取締役)の発案で、一人親方の未来について、各社直面している課題や現状について伺いました。



【課題】

- ・職人を続けていける環境作りをどうつくっていくか。(腕の良い職人さんがキツさや給料面で他業種に移ってしまう)
- ・シニア世代の職人で、最高で70代の人がいる。他の職人も高齢化していき、続けるには体力的や健康的な問題が出てきた。
- ・一人親方が退職したあとに、老後の資金積立が不十分。
- ・職人のボリューム層は30代~40代で、今は働き盛りで問題ないが、その下の世代が少ない。
今、若い人に入ってもらわないと、20年30年経った時が不安。若手の人材募集ができるか。
- ・建設業のマイナスイメージをどう改善するか。(給与が安い、仕事がきついなど) など…

【各社のやりたい取り組み・必要とされる仕組み】

- ・シニア世代には、若手の指導、資材の運搬、仕上りのチェック、工程段取り、アフター工事などの体力的に負担にならない業務を担当。(→これまでの経験を活かせる)
- ・社員として雇い入れる。
- ・大工と同じでサイディングでも研修機関や資格など、人を育てる仕組みが必要では。
- ・給与自体を底上げして、若者が魅力に感じる業界にする必要がある。 など…

今後も、2ヶ月に1回程度の間隔でディスカッション会を開催します。
次回も多くの組合員さまにご参加頂き、より楽しい会にしていけたらと思います。
皆様のご参加をお待ちしております。

以上、事務局からのご報告とさせていただきます。